

会 議 録

会議の名称	第9回西東京市図書館計画策定懇談会
開催日時	平成31年1月30日（水） 午前10時から12時30分
開催場所	中央図書館会議室
出席者	<p>【委員】松尾委員、島委員、山口委員、鈴木委員、藤澤委員、武田委員 上田委員、攝賀委員、松嶋委員、中川委員（館長）、 司城委員（副館長）</p> <p>【欠席】西村委員</p> <p>【事務局】奈良庶務係長、西村ひばりが丘図書館地域館長</p>
傍聴人	1名
議 題	<p>第1 図書館計画(素案)パブリックコメントについて</p> <p>第2 その他</p>
会議資料の名称	資料1 西東京市 市民意見提出手続制度（パブリックコメント）市民意見
記録方法	<input type="checkbox"/> 全文記録 <input type="checkbox"/> 発言者の発言内容ごとの要点記録 <input checked="" type="checkbox"/> 会議内容の要点記録

会 議 内 容

第1 図書館計画(素案)パブリックコメントについて

以下、資料1に沿って内容を検討。

○「基本方針の優先順位」

何の資料を入れ、何の資料を残すかの選択は、司書としての任務であると考えて。市民への一定の要望に応えるためにも蔵書数についてはある程度必要なので、回答としては、資料収集に努めることと、多くの市民の要望に応えるための蔵書数が必要との記述にする。

○「利用者」を「市民」に

図書館の利用者は、西東京市市民でない市外の登録者も含まれることから、計画の中で図書館が考える「市民」と「利用者」の使い分けがわかるように注記で示してはどうか。

○「専門書が少ない」

専門書は誰もが利用するわけではないが、その分野を研究する人にとっては必要。都立図書館や国会図書館などに借用して提供する体制もあることを説明し、幅広い資料の収集とあわせて専門書の収集についても努めるとした回答にする。

○「雑誌が少ない」

雑誌の種類が少ないのか、複本が少ないのか、おそらくバリエーションのことと思われる。西東京市図書館は、他市と比較しても雑誌のバリエーションには富んでいると思うが、読みたい雑誌はいつも誰かが利用している。施設が小さく1館で所蔵するタイトル数は少ないので、全タイトル数を示し、分担収集していることや雑誌の見直しを行っていることを回答したらいいと思う。

○「漫画の所蔵」

東久留米市や武蔵野市の図書館は積極的に漫画を入れているが、西東京市では今後増やす方向で

検討していくのであればその旨回答したらどうか。漫画は電子書籍の形態が増えているので、電子書籍と一緒に検討していくこともできるのではないかと。YA 世代の利用を増やそうとするなら、漫画の資料は効果的である。意見を踏まえて図書館の考えを述べる。

○「所蔵数の削減」

人気図書の取り扱いが難しく、予算の制約もあり冊数の上限は決めている。一定期間が過ぎても利用が続くものと利用が途切れるものがある。ありうる意見ではあるが、図書館計画に関する内容とはいえない。

○「DVD、CD貸出しの強化」

図書館でDVDのサービスを考える際には、民間業者との違いとして、利用者の試聴スペースの設置を含め検討しているので現状では難しい。中長期的な図書館の展望の「中央図書館に求められる機能」の中で示してある。

○「職員組織計画における協議会提言の扱いの明確化」

記述を変更する。

「～述べられています」を「～を重く受けとけている」、または、「基本方針6」に「現行の運営体制を維持しつつ、効率的・効果的な運営体制を構築する」としたらどうか。

○「効率を考えた運営」

開館時間を増やすための検討として、2交代制にするなど効率的な方法はあると思う。

○「貸出期間の延長」

現状の手続きにある一度に限り延長ができることを説明する。インターネットでの延長手続きについては利用方法の説明をわかりやすくしたらどうか。

○「情報発信の電子化」

パソコンを利用している、紙の質感など紙ベースで利用したい人もいるはず。費用対効果のみでは測れない。

○「図書館だより編集の市民参加」

YAサービスの「キャッチ」のように共同編集ができるといい。筆談サービスなど図書館でいろいろと行っている活動をもっときめ細かに説明するなど、PRを充実させるといい。

○「子どもの読書振興の積極的な働きかけ」

今後図書館が取り組む事業の参考に貴重な意見として受け止める。

○「すいせん図書」

すでに学校図書館との連携等を行っているが、貴重な意見として受け止める。

○「魅力ある書架づくり」

魅力ある書架づくりは、図書館の基本であるが、大人と違い、児童の書架はアトラクティブでないに寄ってこないのであえて児童サービスでは入れたのだと思う。基本方針1の施策の方向性(1)に「魅力ある書架づくり」を追加したらどうか。

○「児童書の展示」

図書館の児童サービスについての意見なので、回答に子ども読書活動推進計画については入れない方がいい。子どもによっては、大人の本を読む子どももいるので、計画自体はこのままでいいのではないかと。

○「施設が狭い」から「ゾーニング」まで

図書館計画の中心はサービスで、施設のことは中心の内容ではないが、「中長期的な図書館展望に向けて」の中で施設のことは入れているので、施設に対する意見が多く、施設への不満があると

いうことはよくわかる。

- 「新中央図書館への期待」から「移動図書館」まで
施設の充実は将来への課題としており、中長期的な図書館の展望の中の「新しい中央図書館に求められる機能」のための、貴重な意見ととらえる。

第2 その他

- 「西東京市図書館計画策定懇談会設置要綱」には、教育長に提言となっているので、懇談会としての意見を提出し、その後、教育委員会として「西東京市図書館計画」を発行することにはどうか。
- パブリックコメントで、20名という多くの人から意見がでたのは珍しいことである。
市民を巻き込んで図書館を作っていくことには意義がある。
新たに中央図書館をつくる時には、市民を巻き込んでワークショップや図書館友の会など、盛り込んでいただきたい。
- 座長 懇談会として、皆さんから白熱した議論をしていただき、ありがとうございました。

次回 2月12日(火) 午後3時から 中央図書館会議室